

参考資料

1 医療提供体制推進事業に関する周産期医療体制調の概要

大阪府においては、周産期医療体制整備計画の策定にあたり、下記の調査結果を独自に集計・分析し、府内の周産期医療にかかる医療資源の実態を把握した。

- 調査名称：医療提供体制推進事業に関する周産期医療体制調
(実施：厚生労働省医政局指導課)

- 調査期間：平成 24 年 8 月から 10 月

- 調査対象：大阪府内に所在する総合・地域周産期母子医療センター
総合周産期母子医療センター 6 ヶ所
地域周産期母子医療センター 18 ヶ所
合 計 24 ヶ所

- 調査対象期間：平成 24 年 4 月 1 日（時点調査項目）
平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日（期間調査項目）

- 回答数（回答率）：24 ヶ所（100%）

※ただし、調査項目によって、未回答、不回答項目があり、必ずしも全ての項目での回答は得られていない。

(1) 周産期専用病床等の整備状況

		MFICU 病床数	うち、総 合周産 期特定 集中治 療室管 理料算 定病床 数	NICU 病床数	うち、総 合周産 期特定 集中治 療室管 理料算 定病床 数	うち、新 生児集 中治療 室管理 料1算 定病床 数	うち、新 生児集 中治療 室管理 料2算 定病床 数	GCU 病床数	うち、新 生児回 復室入 院医療 管理料 算定病 床数
H23	総合周産期 C 計	45	42	87	69	18	0	139	15
	地域周産期 C 計	23	12	144	21	123	0	146	62
	周産期 C 全体計	68	54	231	90	141	0	285	77
	総合周産期 C 平均	7.5	7.0	14.5	13.8	3.0	0	23.2	2.5
	地域周産期 C 平均	1.9	1.3	8.0	2.3	6.8	0	9.7	5.2
	周産期 C 全体平均	3.7	3.6	9.6	6.4	5.9	0	13.6	4.3

(2) MFICU・NICUの稼働実績

		MFICU 平均入 院期間 /日	MFICU 最大入 院期間 /日	MFICU 病床利 用率 /%	MFICU 年間利 用実人 員数 /人	NICU 平均入 院期間 /日	NICU 最大入 院期間 /日	NICU 病床利 用率 /%	NICU 年間利 用実人 員数 /人
H23	総合周産期 C 計	—	—	—	1,786	—	—	—	1,585
	地域周産期 C 計	—	—	—	483	—	—	—	4,518
	周産期 C 全体計	—	—	—	2,269	—	—	—	6,103
	総合周産期 C 平均	8.1	33.7	83.1	297.7	21.0	150.3	93.0	264.2
	地域周産期 C 平均	7.3	39.2	52.3	60.4	21.8	104.9	84.5	251.0
	周産期 C 全体平均	7.7	36.2	69.1	162.1	21.6	116.7	86.6	254.3

(3) GCUの稼働実績、周産期専用病床の利用人員

		GCU 平均入 院期間 /日	GCU 最大入 院期間 /日	GCU 病床利 用率 /%	GCU 年間利 用実人 員数 /人	センター 全体入 院患者 数/人	MFICU 実入院 患者数 /人	MFICU のうち、 総合周 産期特 定入院 管理料 算定実 人員数 /人	NICU 実 入院患 者数 /人
H23	総合周産期 C 計	—	—	—	3,473	14,073	1,753	1,719	1,553
	地域周産期 C 計	—	—	—	3,043	23,686	483	172	2,944
	周産期 C 全体計	—	—	—	6,516	37,759	2,236	1,891	4,497
	総合周産期 C 平均	15.0	395.7	78.7	578.8	2,345.5	292.2	257.8	258.8
	地域周産期 C 平均	12.8	104.3	59.1	202.9	1,691.8	43.9	12.9	163.6
	周産期 C 全体平均	13.4	191.7	64.7	310.3	1,887.9	131.5	76.8	187.4

(4) 周産期専用病床の診療報酬算定実患者数・搬送受入基準（妊娠週数、推定体重）

		NICUのう ち、総合 周産期 特定入 院管理 料算定 患者数 /人	NICUのう ち、新生 児集中 治療 室管理 料1算 定患者 数/人	GCU実入 院患者 数/人	GCUのう ち、新生 児回復 室入院 料算定 患者数 /人	搬送受入 基準妊 娠週数 /週	搬送受入 基準推 定体重 /g
H23	総合周産期 C 計	1,547	0	3,467	232	—	—
	地域周産期 C 計	219	8,657	3,054	2,777	—	—
	周産期 C 全体計	1,786	8,657	6,521	3,009	—	—
	総合周産期 C 平均	257.8	0	577.8	68.6	23.2	570.0
	地域周産期 C 平均	12.9	480.9	203.6	154.2	25.8	785.7
	周産期 C 全体平均	76.8	480.9	310.5	125.3	25.1	728.9

(5) 新生児搬送の受入れ状況等

(単位：件)

		救急搬送受入件数(新生児)	受入不能件数(新生児)	他府県からの受入件数	他府県からの受入件数(奈良)	他府県からの受入件数(兵庫)	他府県からの受入件数(和歌山)	他府県からの受入件数(京都)	他府県からの受入件数(その他)
H23	総合周産期 C 計	450	156	5	2	0	3	0	0
	地域周産期 C 計	586	49	28	0	15	0	0	0
	周産期 C 全体計	1,036	205	33	2	15	3	0	0
	総合周産期 C 平均	75.0	31.2	—	—	—	—	—	—
	地域周産期 C 平均	34.4	3.0	—	—	—	—	—	—
	周産期 C 全体平均	45.0	9.7	—	—	—	—	—	—

(6) 母体搬送の受入れ状況等

(単位：件)

		救急搬送受入件数(母体)	受入不能件数(母体)	他府県からの受入件数	他府県からの受入件数(奈良)	他府県からの受入件数(兵庫)	他府県からの受入件数(和歌山)	他府県からの受入件数(京都)	他府県からの受入件数(その他)
H23	総合周産期 C 計	630	430	37	8	9	1	15	4
	地域周産期 C 計	1,254	139	92	9	72	0	5	1
	周産期 C 全体計	1,884	569	129	17	81	1	20	5
	総合周産期 C 平均	105.0	71.6	—	—	—	—	—	—
	地域周産期 C 平均	73.7	8.6	—	—	—	—	—	—
	周産期 C 全体平均	81.9	25.8	—	—	—	—	—	—

(7) ドクターカーの整備状況及び稼働状況

(単位：台数、件数)

		周産期ドクターカー台数(新生児専用)	周産期ドクターカー台数(母児兼用)	新生児迎え搬送件数	新生児三角搬送件数	新生児戻り搬送件数	母体迎え搬送件数
H23	総合周産期 C 計	2	3	389	191	91	0
	地域周産期 C 計	0	4	155	1	46	74
	周産期 C 全体計	2	7	544	192	137	74

(8) 産婦人科・小児科医師の配置状況

(単位：人)

		産科産婦人科						新生児			
		全体			分娩従事			専任			兼任
		常勤 医師 数	研修 医、レ ジデ ント 数	非常 勤医 師数	常勤 医師 数	研修 医、レ ジデ ント 数	非常 勤医 師数	常勤		非常 勤 医師 数	小児 科医 師数
医師 数	研修 医・レ ジデ ント 数										
H23	総合周産期 C 計	59	26	15	58	24	10	35	12	6	31
	地域周産期 C 計	136	59	55	107	43	41	27	7	8	118
	周産期 C 全体計	195	85	70	165	67	51	62	19	14	149
	総合周産期 C 平均	9.8	4.3	3.0	9.6	4.0	2.0	5.8	2.0	1.2	5.1
	地域周産期 C 平均	7.5	3.6	3.4	6.2	2.8	2.7	1.6	0.5	0.5	6.9
	周産期 C 全体平均	8.1	3.8	3.3	7.1	3.1	2.5	2.8	0.9	0.7	6.4

(9) 産科・産婦人科の夜間休日の当直体制等

(単位：人)

		産科・産婦人科									
		平日夜間		土曜昼間		土曜夜間		日曜昼間		日曜夜間	
		当直	オン コ ール	当直	オン コ ール	当直	オン コ ール	当直	オン コ ール	当直	オン コ ール
H23	総合周産期 C 計	12	4	11	3	12	3	11	3	12	3
	地域周産期 C 計	22	19	21	18	22	19	22	19	22	19
	周産期 C 全体計	34	23	32	21	34	22	33	22	34	22
	総合周産期 C 平均	1.8	0.8	1.8	0.6	2.0	0.6	1.8	0.6	2.0	0.6
	地域周産期 C 平均	1.2	1.1	1.2	1.0	1.2	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1
	周産期 C 全体平均	1.4	1.0	1.3	0.9	1.4	1.0	1.4	1.0	1.4	1.0

(10) 新生児科（小児科）の夜間・休日の当直体制等

(単位：人)

		新生児医療担当小児科(新生児科)									
		平日夜間		土曜昼間		土曜夜間		日曜昼間		日曜夜間	
		当直	オンコール	当直	オンコール	当直	オンコール	当直	オンコール	当直	オンコール
H23	総合周産期C計	9	2	10	3	9	2	12	3	9	2
	地域周産期C計	18	9	17	10	18	10	18	10	18	10
	周産期C全体計	27	11	27	13	27	12	30	13	27	12
	総合周産期C平均	1.5	0.4	1.6	0.6	1.5	0.4	2.0	0.6	1.5	0.4
	地域周産期C平均	1.0	0.6	0.9	0.7	1.0	0.7	1.0	0.7	1.0	0.7
	周産期C全体平均	1.1	0.5	1.1	0.6	1.1	0.6	1.2	0.6	1.1	0.6

(11) NICU等長期入院児の状況

(単位：人)

		長期入院児 (一年以上) ／人		NICU等からの移行先 ／人				どこからNICU等へ 再入院したか／人				生後 6か 月以 降に 死亡 した 児数
		NICU	GCU	小児 科病 床・ 自院	小児 科病 床・ 他院	福祉 施設	在宅	小児 科病 床・ 自院	小児 科病 床・ 他院	福祉 施設	在宅	
H23	総合周産期C計	1	1	2	2	0	2	10	2	3	44	28
	地域周産期C計	1	3	3	0	0	2	2	20	0	37	2
	周産期C全体計	2	4	5	2	0	4	12	22	3	81	30
	総合周産期C平均	0.17	0.17	0.33	0.33	0	0.33	1.67	0.33	0.50	7.33	4.67
	地域周産期C平均	0.06	0.20	0.19	0	0	0.13	0.13	0.15	0	2.31	0.12
	周産期C全体平均	0.09	0.19	0.23	0.09	0	0.18	0.55	1.00	0.14	3.68	1.30

(12) 母体救命の対応及び実績 (脳外科疾患)

(単位：施設数、件)

		妊産婦の脳血管疾患に関して										
		頭部CT可能	専門医の対応可能	脳外科手術が可能	常時血管内治療が可能	収容可能なICUを整備	他施設から受入可能	妊婦の受入不可	H23年度対応実績件数	うち、産婦人科対応件数	うち、救命救急C対応件数	他施設搬送実績件数
H23	総合周産期C計	6	3	3	3	4	3	3	22	21	1	1
	地域周産期C計	17	10	11	10	15	10	6	41	25	3	3
	周産期C全体計	23	13	14	13	19	13	9	63	46	4	4

(13) 母体救命の対応及び実績 (循環器疾患)

(単位：施設数、件)

		妊産婦の心臓等循環器疾患の対応に関して								
		常時専門医対応可能	心カテ検査・治療が可能	心臓血管外科手術が可能	収容可能なICU・CCU整備	他施設から妊婦受入可能	H23年度対応実績件数	うち、産婦人科対応件数	うち、救命救急C対応件数	他施設搬送実績件数
H23	総合周産期C計	5	4	3	4	4	9	9	0	0
	地域周産期C計	11	11	8	15	9	113	101	1	5
	周産期C全体計	16	15	11	19	13	122	110	1	5

(14) 母体救命の対応及び実績 (外傷等救命救急)

(単位：施設数、件)

		妊産婦の外傷・救命救急の対応に関して									
		常時外傷診療可能な医師	救命救急医の配置がある	外傷時の検査や治療が可能	緊急手術の実が可能	妊婦受入可能なICUを整備	他施設から受入可能	H23年度対応実績件数	うち、産婦人科対応件数	うち、救命救急C対応件数	他施設搬送実績件数
H23	総合周産期C計	3	3	3	3	4	3	3	3	0	0
	地域周産期C計	9	11	11	11	15	7	50	19	1	0
	周産期C全体計	12	14	14	14	19	10	53	22	1	0

(15) 母体救命の対応及び実績 (DIC・敗血症等)

(単位：施設数、件)

		妊産婦のDIC・敗血症等への対応に関して							
		全身可能な治療 集中治療 医師	必要な処置 検査可能 治療	ICU等 集中治療 が可能	他施設 から妊婦 の受け入れ 可能	H23年度 対応実績 件数	うち、産 婦人科 対応件 数	うち、救 命救急 C対応 件数	他施設 搬送実 績件数
H23	総合周産期C計	4	5	4	4	177	167	10	0
	地域周産期C計	15	15	15	13	171	105	4	10
	周産期C全体計	19	20	19	17	348	272	14	10

(16) 新生児医療関係医療従事者配置の状況

		新生児 集中ケア 認定 看護師 数/人	新生児 専門医 数/人	24時間 体制 新生児 担当医 師数/人	24時間 院内 小児外 科医師 数/人	24時間 院内 麻酔科 医師数 /人	24時間 センター 麻酔科 医師数 /人	専門医 ※コン サルテ ーション が可能 /施設 数	NICU コーネ ィター 確保/ 施設 数	臨床心 理士等 臨床心 理技術 者配置 /施設 数
H23	総合周産期C計	7	13	9	4	4	0	6	5	5
	地域周産期C計	9	8	18	2	9	0	14	11	12
	周産期C全体計	16	21	27	6	13	0	20	16	17

※ 専門医コンサルテーションによる診療科目：眼科、小児循環器科、小児循環器外科、脳神経外科、整形外科

(17) 新生児医療の医療実績等1 (入院数、週数別)

(単位：人)

		NICU・ GCU総 入院数	人工換 気実施 数	NICU 入院数 (保険 適用)	22~ 23週	24~ 27週	28~ 33週	34~ 36週
H23	総合周産期C計	2,353	750	1,563	37	107	411	589
	地域周産期C計	4,418	850	2,970	19	94	507	976
	周産期C全体計	6,771	1,600	4,533	56	201	918	1565
	総合周産期C平均	392.1	125.0	260.5	7.4	21.4	68.5	98.1
	地域周産期C平均	245.4	47.2	165.0	2.3	7.2	28.1	54.2
	周産期C全体平均	282.1	66.6	188.8	4.3	11.1	38.2	65.2

(18) 新生児医療の医療実績等2 (出生体重別・週数別生存率)

(単位：人、%)

		～499g	500～999g	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g以上	22～23週生存率	24～27週生存率	28～33週生存率	34～36週生存率
H23	総合周産期C計	18	161	181	378	512	1,099	—	—	—	—
	地域周産期C計	17	116	246	514	1,093	2,432	—	—	—	—
	周産期C全体計	35	277	427	892	1,605	3,531	—	—	—	—
	総合周産期C平均	3.6	26.8	30.1	63.0	85.3	183.1	77.4	88.1	97.3	96.5
	地域周産期C平均	2.1	7.7	13.6	28.5	60.7	135.1	88.3	88.5	98.5	99.6
	周産期C全体平均	2.6	13.1	17.7	37.1	66.8	147.1	83.4	88.4	98.2	98.9

(19) 新生児医療の医療実績等3 (ハイリスク新生児の数・率) 産科関係の医療体制の状況1

		超低出生体重児の人数	超低出生体重児の率	極低出生体重児の人数	極低出生体重児の率	開頭・開胸・開腹手術件数	開頭・開胸・開腹手術の率	センター内手術室整備数/施設数	病院内手術室整備数/施設数	センター内血液ガス分析装置台数	センター内超音波診断装置台数
H23	総合周産期C計	179	—	181	—	151	—	2	6	6	17
	地域周産期C計	133	—	246	—	89	—	1	18	13	39
	周産期C全体計	312	—	427	—	240	—	3	24	19	56
	総合周産期C平均	29.8	11.4	30.1	11.5	11.4	12.3	—	—	—	—
	地域周産期C平均	8.8	6.0	13.6	16.7	6.0	9.5	—	—	—	—
	周産期C全体平均	14.8	7.6	17.7	15.4	7.6	10.7	—	—	—	—

(20) 産科関係の医療体制の状況 2

		センター内分娩監視装置台数	センター内呼吸循環監視装置台数	周産期(母体・胎児)専門医師数	センター内常時産科を担当する医師数	常時麻酔科医師がセンター内に確保/施設数	常時麻酔科病院内確保/施設数	院内常時脳外科医確保/施設数	院内常時心臓外科医確保/施設数	院内常時循環器内科が確保/施設数
H23	総合周産期 C 計	41	40	9	8	0	4	2	3	4
	地域周産期 C 計	128	132	8	21	1	8	8	5	10
	周産期 C 全体計	169	172	17	29	0	12	10	8	14

(21) 産科関係の医療実績等 1

		全分娩件数	取り扱ったハイリスク妊娠件数(分娩管理まで行った数)	全分娩に占めるハイリスク妊娠の割合/%	分娩時週数別分娩取扱件数(22週～23週)	分娩時週数別分娩取扱件数(24週～27週)	分娩時週数別分娩取扱件数(28週～33週)	分娩時週数別分娩取扱件数(34週～36週)
H23	総合周産期 C 計	6,805	2,279	—	43	98	379	619
	地域周産期 C 計	13,771	2,326	—	22	92	420	1,018
	周産期 C 全体計	20,516	4,605	—	65	190	799	1,637
	総合周産期 C 平均	1134.2	379.8	36.5	7.1	16.3	63.1	103.1
	地域周産期 C 平均	761.7	145.3	18.8	1.4	5.7	24.7	59.8
	周産期 C 全体平均	854.8	209.3	23.6	3.1	8.6	34.7	71.1

(22) 産科関係の医療実績等2

		分娩時週数別分娩取扱数の 全分娩数に対する割合				帝王切開		多胎妊娠分娩	
		(22～ 23週)	(24～ 27週)	(28～ 33週)	(34～ 36週)	件数	率(帝 王切開 数/全 分娩数)	件数	率(多 胎妊娠 分娩数 /全分 娩数)
H23	総合周産期C計	—	—	—	—	2,109	—	373	—
	地域周産期C計	—	—	—	—	3,608	—	421	—
	周産期C全体計	—	—	—	—	5,717	—	794	—
	総合周産期C平均	0.62	1.36	5.86	9.25	351.5	32.3	62.1	5.37
	地域周産期C平均	0.32	1.04	3.45	8.04	200.4	26.6	23.3	2.94
	周産期C全体平均	0.43	1.14	4.08	8.36	238.2	28.0	33.0	3.55

(23) 産科関係の医療実績等3

		母体搬送受 入れ数	合同症例検 討会の開催	新生児蘇生 法講習会の 開催	常時、帝王切 開が可能で ある	常時、輸血が 可能である
		H23	総合周産期C計	630	14	18
	地域周産期C計	1,318	35	20	18	18
	周産期C全体計	1,948	49	38	24	24
	総合周産期C平均	105.0	—	—	—	—
	地域周産期C平均	73.2	—	—	—	—
	周産期C全体平均	81.1	—	—	—	—

2 大阪府周産期医療資源等実態調査結果の概要

大阪府においては、周産期医療体制整備計画の策定にあたり、府内の周産期医療にかかる医療資源の実態を把握するため、下記の調査を実施した。

- 調査名称：周産期医療体制整備計画策定に係る周産期医療資源等の実態調査
- 調査期間：平成 24 年 10 月～平成 24 年 12 月（最終集約）
- 調査対象：大阪府内に所在する産科、産婦人科を標榜する医療機関
病院 53 ヶ所、診療所 301 ヶ所 計 354 ヶ所
(但し、総合・地域周産期母子医療センターを除く)
- 調査対象期間：平成 24 年 4 月 1 日（時点調査項目）
平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日（期間調査項目）
- 回答数（回答率）：

病 院	45	(85%)
診療所	182	(60%)
合 計	227	(64%)

※ただし、調査項目によって、未回答、不回答項目があり、必ずしも全ての項目での回答は得られていない。

1 分娩取扱等について

(1) 分娩の取扱

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	分娩取扱あり	分娩取扱なし
病 院	37	8
診療所	73	105
合 計	110	113

(2) 妊婦健診の実施

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

		健診を行っている	健診を行っていない
病 院	分娩あり	37	0
	分娩なし	4	3
診療所	分娩あり	73	0
	分娩なし	81	23
合 計		195	26

※各項目に関して、空白の欄などがあり、各項目の合計値は必ずしも一致しない。以下同じ。

(3) オープンシステム（健診施設の主治医が分娩施設で分娩を行うもの）の参加状況

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

		健診施設として参加	分娩施設として参加	不参加	契約締結施設数	分娩実績
病 院	分娩あり	0	2	34	41	34
	分娩なし	0	0	6	0	0
診療所	分娩あり	0	3	66	4	15
	分娩なし	10	2	88	14	58
合 計		10	7	194	59	107

※分娩なしの医療機関が「分娩施設として参加」と回答しているものについては、医療機関からの回答をそのまま掲載した。

(4) セミオープンシステム（健診施設の主治医が分娩施設で分娩を行わず、分娩施設の医師が主治医として分娩を行うもの）の参加状況 (平成24年4月1日現在)

		健診施設として参加	分娩施設として参加	不参加	契約締結施設数	分娩実績
病院	分娩あり	3	7	27	62	233
	分娩なし	1	0	6	1	4
診療所	分娩あり	9	4	56	15	180
	分娩なし	36	1	65	63	812
合計		49	12	154	141	1,229

※分娩なしの医療機関が「分娩施設として参加」と回答しているものについては、医療機関からの回答をそのまま掲載した。

(5) セミオープンシステムへの考え方

		積極的に進めるべき	進めるべきではない
病院	分娩あり	21	11
	分娩なし	5	2
診療所	分娩あり	41	18
	分娩なし	86	11
合計		153	42

(6) セミオープンシステムの促進に必要と思われる事柄（複数回答可）

		説明会の開催	分娩病院からの説明	契約書の提示	質の担保	責任所在の明確化
病院	分娩あり	21	18	22	20	33
	分娩なし	7	4	4	5	5
診療所	分娩あり	28	40	28	37	49
	分娩なし	43	53	37	43	74
合計		99	115	91	105	161

※以下の項目は分娩施設のみが回答

(7) 分娩施設の概要 [合計値]

	全病床数 *	うち、全産科病床
病 院	10,879	950
診療所	811	796
合 計	11,690	1,746

[平均値および平均率]

	全病床数 *	うち、全産科 病床	病床稼働率 **	うち、全産科 病床の稼働率	平均在院日数 **	うち、全産科 病床
病 院	318	27	80.8	70.5	13.5	7.2
診療所	12	12	60.7	61.0	5.8	5.7
全体平均	108.4	16.8	68.1	64.4	8.5	6.2

*「全病床数」は平成 24 年 4 月 1 日現在

**「病床稼働率」「平均在院日数」は平成 23 年実績

2 診療体制

(1) 分娩業務に従事する産科医師数

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	専任常 勤	専任研 修・レジ	専任非 常勤(実 数)	専任非 常勤(常 勤換算)	兼任医 師	兼任研 修・レジ	兼任非 常勤(実 数)	兼任非 常勤(常 勤換算)	合計
病 院	15	2	20	0	132	16	103	8.26	288.2
診療所	59	0	64	8.8	58	0	79	5.1	261.2
合 計	76	2	84	8.8	190	16	182	13.36	554.4

(2) 新生児医療に従事する医師数

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	専任常 勤	専任研 修・レジ	専任非 常勤(実 数)	専任非 常勤(常 勤換算)	兼任医 師	兼任研 修・レジ	兼任非 常勤(実 数)	兼任非 常勤(常 勤換算)	合計
病 院	12	1	12	0	100	20	33	5.19	178
診療所	9	0	21	1.65	31	0	27	1	88
合 計	21	1	33	1.65	131	20	60	6.19	266

(3) 産婦人科医師の夜間の勤務体制

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	当直	交代制	オンコール	その他
病院計	33	1	5	1
診療所計	56	0	15	5
合計	89	1	20	6

(4) 新生児を担当する医師の勤務体制

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	当直	交代制	オンコール	その他
病院計	7	0	16	3
診療所計	8	0	10	5
合計	15	0	26	8

3. 医療実績等

(1) ハイリスク妊娠管理加算等にかかる実績

(平成 23 年実績)

	(1)ハイリスク妊娠管理費 加算実患者者数	(2)ハイリスク分娩管理加 算実患者数	(3)ハイリスク妊娠＋ハイ リスク分娩の実患者者数
病院計	1,580	983	955
診療所計	231	80	30
合計	1,811	1,063	985

(2) 分娩様式別の分娩件数

(平成 23 年実績)

	分娩計	経膣	帝王切開(予定)	帝王切開(緊急)
病院計	18,607	15,336	2,109	1,160
診療所計	24,286	21,617	1,775	894
合計	42,893	36,953	3,884	2,054

(3) - 1 ハイリスク分娩にかかる実績 1

(平成 23 年実績)

	鉗子・吸引分娩数
病院計	1,051
診療所計	1,659
合計	2,710

ハイリスク分娩にかかる実績2

(平成 23 年実績)

	500g未満	500g以上 1000g未満	1000g以上 1500g未満	1500g以上 2500g未満
病院計	46	6	7	891
診療所計	9	2	5	778
合計	55	8	12	1,669

ハイリスク分娩にかかる実績3

(平成 23 年実績)

	37 週未満	多胎(双胎以上)
病院計	485	49
診療所計	422	35
合計	907	84

(3)ー2 ハイリスク分娩における死産数

(平成 23 年実績)

	500g未満	500g以上 1000g未満	1000g以上 1500g未満	1500g以上 2500g未満	37 週未満	多胎(双胎以上)
病院計	46	5	3	2	0	0
診療所計	9	2	1	7	0	1
合計	55	7	4	9	0	1

(4)助産師外来の設置状況

(平成 23 年実績)

	設置している	設置していない	健診回数実績
病院計	16	22	13,747
診療所計	11	62	2,138
合計	27	84	15,885

(5)院内助産所の設置状況

(平成 23 年実績)

	設置している	設置していない	分娩実績
病院計	3	35	75
診療所計	1	70	0
合計	4	105	75

3 大阪府周産期医療体制整備計画検討経過

1. 検討の経緯

[平成 23 年度]

(ア) 大阪府周産期医療対策協議会

① 第 1 回大阪府周産期医療対策協議会

1. 開催日：平成 24 年 3 月 21 日
2. 議題： (1)大阪府周産期医療対策協議会設置要綱の改正について
(2)大阪府周産期医療体制整備計画策定ワーキンググループの設置について

[平成 24 年度]

(イ) 大阪府周産期医療協議会

① 第 1 回大阪府周産期医療協議会

1. 開催日：平成 24 年 11 月 13 日
2. 議題： (1)会長選出
(2)部会の設置について

② 第 2 回大阪府周産期医療協議会

1. 開催日：平成 25 年 1 月 29 日
2. 議題： (1)大阪府周産期医療体制整備計画（部会案）について

③ 第 3 回大阪府周産期医療協議会

1. 開催日：平成 25 年 3 月 27 日
2. 議題： (1)大阪府周産期医療体制整備計画（案）について

(ウ) 周産期医療体制整備計画策定ワーキンググループ（周産期医療体制整備計画策定部会）

① 第 1 回周産期医療体制整備計画策定ワーキンググループ

1. 開催日：平成 24 年 4 月 24 日
2. 議題： (1)今後の会議の進め方（スケジュール）について
(2)整備計画の方向性について

② 第2回周産期医療体制整備計画策定ワーキンググループ

1. 開催日：平成24年8月9日
2. 議題： (1) 次期周産期医療体制整備計画における整備方針のポイントについて（案）
(2) 周産期母子医療センターの指定・認定基準について

③ 第1回周産期医療体制整備計画策定部会

1. 開催日：平成24年12月6日
2. 議題： (1) 会議の公開・非公開について
(2) 周産期医療体制整備計画について

④ 第2回周産期医療体制整備計画策定部会

1. 開催日：平成24年12月25日
2. 議題： (1) 周産期医療体制整備計画について

⑤ 第3回周産期医療体制整備計画策定部会

1. 開催日：平成25年1月10日
2. 議題： (1) 周産期医療体制整備計画（事務局素案）について

4. 大阪府周産期医療協議会規則

大阪府規則186号

大阪府周産期医療協議会規則

(趣旨)

第一条 この規則は、大阪府附属機関条例（昭和二十七年大阪府条例第三十九号）第二条の規定に基づき、大阪府周産期医療協議会（以下「協議会」という。）の組織、委員及び専門委員（以下「委員等」という。）の報酬及び費用弁償の額その他協議会に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第二条 協議会は、知事の諮問に応じて、大阪府附属機関条例別表第一第一号に掲げる当該担当事務について調査審議し、意見を述べるものとする。

(組織)

第三条 協議会は、委員十四人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、知事が任命する。

3 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員)

第四条 協議会に、専門の事項を調査審議させるため必要があるときは、専門委員若干人を置くことができる。

2 専門委員は、学識経験のある者の中から、知事が任命する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長)

第五条 協議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第六条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第七条 協議会に、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会に属する委員等は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

4 部会長は、部会の会務を掌理し、部会における審議の状況及び結果を協議会に報告する。

5 前条の規定にかかわらず、協議会は、その定めるところにより、部会の決議をもって協議会の決議とすることができる。

(報酬)

第八条 委員等の報酬の額は、日額八千二百円とする。

(費用弁償)

第九条 委員等の費用弁償の額は、職員の旅費に関する条例（昭和四十年大阪府条例第三十七号）による指定職等の職務にある者以外の者の額相当額とする。

(庶務)

第十条 協議会の庶務は、健康医療部において行う。

(委任)

第十一条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第三条の規定にかかわらず、平成二十五年三月三十一日までとする。

5. 大阪府周産期医療協議会委員名簿

会長	齋田幸次	大阪府医師会理事
会長代理	船戸正久	大阪発達総合療育センターフェニックス園長
委員	市場博幸	大阪市立総合医療センター新生児科部長
委員	小田淳郎	大阪府救急医療情報センター所長
委員	北島博之	大阪府立母子保健総合医療センター新生児科主任部長
委員	木村 正	大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学講座教授
委員	楠亀達彦	大阪市健康局健康推進部保健医療計画担当課長
委員	澤 芳樹	大阪府医師会副会長
委員	出口昌昭	大阪市立総合医療センター周産期センター部長
委員	西本泰久	大阪府医師会理事
委員	西尾陽一	堺市健康福祉局健康部健康医療推進課参事
委員	光田信明	大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長
委員	椋棒正昌	淀川キリスト教病院総長

大阪府周産期医療協議会周産期医療体制整備計画策定部会委員名簿

(平成 24 年 10 月までは大阪府周産期医療対策協議会周産期医療体制整備計画策定WG)

部会長	木村 正	大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学講座教授
部会長代理	木下 洋	関西医科大学医学教育センター長
委員	市場博幸	大阪市立総合医療センター新生児科部長
委員	齋田幸次	大阪府医師会理事
委員	竹村秀雄	小阪産病院理事長
委員	中後 聡	愛仁会高槻病院副院長
委員	中村博昭	大阪市立総合医療センター産科副部長
委員	平野慎也	大阪府立母子保健総合医療センター新生児科副部長
委員	光田信明	大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長
委員	和田紀久	近畿大学医学部小児科准教授

大阪府健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療グループ 平成 25 年 3 月
〒540-8570 大阪府中央区大手前 2 丁目 代表 06-6941-0351 F A X 06-6944-6691